

日刊工業新聞

総合ガイド

ログアウト

ニュース

動画

特集・連載

マイページ

JIMTOF2016

記事検索

機械 ロボット ICT エレクトロニクス 自動車・輸送機 化学・金属・繊維 環境・エネルギー 医療・健康・食品 建設・住宅・生活
商社・流通・サービス 政治・経済 金融・商況 地域経済 中小・ベンチャー 科学技術・大学 人物 オピニオン トピックス 新製品 その他
編集特集 友の会 特集・広告 人事・機構改革 マイニュース マイクリップ

トップ > 列島ネット2 > 記事詳細

小 中 大

キラリわが社のロングセラー（69）ユキワ精工エースーパーG1 チャック

ツイート いいね! 0 LINEで送る

(2014/3/28 05:00)



2014年に発売20周年を迎えるユキワ精工の「スーパーG1チャック=写真」。切削工具を工作機械に取り付けるためのツールホルダーで、現在も安定的に年間1億円程度を売り上げています。

82年からツールホルダーを手がけていたが、より精度の高い製品を目指して開発したのがこのスーパーG1だ。工具をつかむコレットの形状を自社で規格し、工具径に合ったジャストサイズの製品を用意。高精度で工具をつかみ、高い把握力も実現した。回転時にどれだけ中心が振れるかという総合芯振れ精度は5マイクロメートル（マイクロは100万分の1）を保証する。

価格は1本3万円程度で、他社製品に比べて2割程度高い。しかし、振れが小さいため工具の摩耗が少なく、工具費を抑えられるため、コストダウンにつながる。「工作機械のユーザーは良い機械・工具を求めるが、ツールホルダーはあまり気にしていない」。酒巻弘和常務はこう分析する。スーパーG1は、こうした意識を変えるツールになっている。

派生製品として微細加工向け「ハイブリッドG1チャック」、高速・重切削向け「グリーンG1チャック」も用意。これまで一部改良していたが、酒巻常務は「1-2年後をめどにフルモデルチェンジを考えている」と明かす。これからも主力製品として事業を支えそうだ。

▽所在地=新潟県小千谷市千谷2600の1、0258・81・1111▽社長=酒巻和男氏▽事業内容=ツールホルダー、ドリルチャックなどの製造販売▽ロングセラー商品の発売時期=94年（平6）

（金曜日に掲載）

(2014/3/28 05:00)

【PR】省エネを実現する ESCO・エネルギーマネジメントセミナー 1/19 聴講無料

【PR】ロボットをビジネスへ：ロボティクスサポートサービス/日立システムズ

ツイート いいね! 0 LINEで送る

マイクリップ登録する

記事を利用する

< 最新記事へ

前へ

次へ

一覧を見る >

関連リンク

ユキワ精工

あわせて読みたい